

2021年1月

「ツーリストシップ」提唱開始

持続可能な観光を、旅行者行動から築くべく、旅行者に寄り添い鼓舞する「ツーリストシップ」を提唱開始。日本各地でイベントを行い、日本人国内旅行者や訪日外国人旅行者にツーリストシップを伝える活動を始めた。

2025年8月

世界初の旅行者行動基準として「ツーリストシップ行動集」発表！

- 4年半かけて調査を行い、グローバル基準（GSTC）を軸に全部で68項目の基準を独自作成し、旅行者ができる行動・意識したいことについて体系的にまとめた。
- 観光庁のオーバーツーリズム未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業に採択された。
- 第四回ツーリストシップサミットで発表後、大注目。観光経済新聞の1面にて解説、日経新聞に掲載など多くの反響有。
- フィナンシャルタイムズなど外国誌にも紹介された。



2026年2月

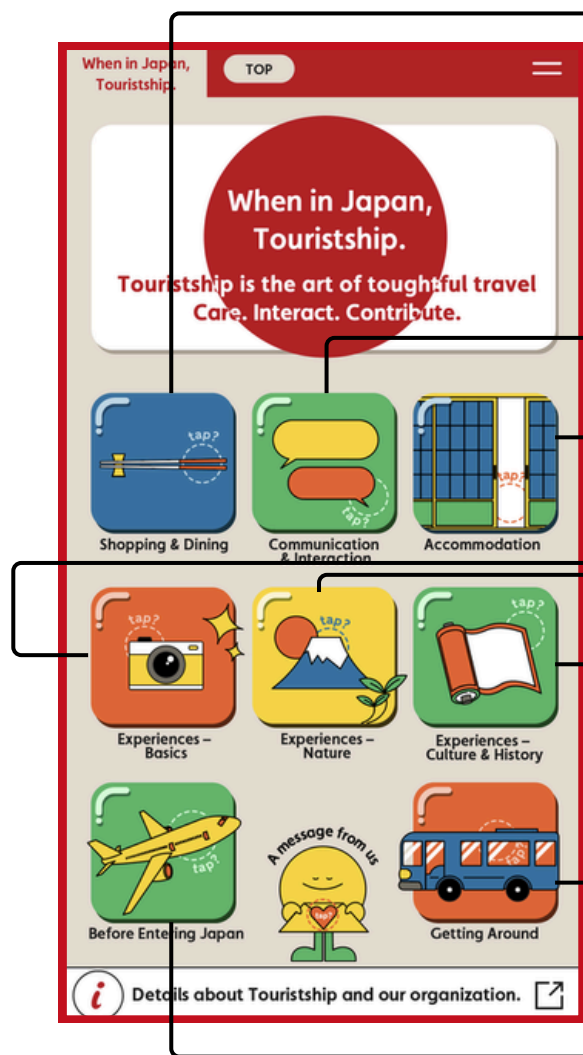
Touristship Japan Web 発表

- ツーリストシップ行動集を基に日本版を作成し、訪日外国人旅行者向けにカスタマイズし、サイトを構築。
- これまでにない網羅性を実現。

Webサイト ツーリストシップジャパン

「Touristship JAPAN」

本Webサイトは、日本を訪れる外国人旅行者の皆様に向けて、来日前・来日後に知ってほしい日本での過ごし方や、地域文化を大切にした行動・買い物の考え方など、楽しく日本を旅する術として全国で必要とされるマナーを紹介します。 ※ Touristshipは、旅をより心地よく楽しむための考え方です。



全8項目で構成されています

■ 日本での食事と買い物

例：混雑する時間は？荷物は？日本は静か？運転する？

■ 日本らしいコミュニケーション

例：便利な日本語「すみません」、おじぎとは？ピースサイン？

■ 日本での宿泊施設

例：和室や畳とは？暮らしに配慮するには？環境対策は？

■ 日本の慣習

例：ゴミ箱事情？写真を撮るなら？大浴場に入るなら？

■ 日本での自然体験

例：富士山登るなら？野生動物に会ったら？ハイキング行くなら？

■ 日本での文化体験

例：日本の歴史とは？神社とお寺の基本は？お祭りに参加する？

■ 日本での公共交通機関

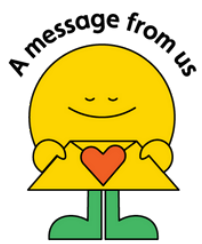
例：混雑する時間は？荷物は？日本は静か？運転する？

■ 入国前の準備

例：混雑する時期は？旅行保険は？



welcome感を意識した、楽しい発信物を作成。
店舗で配架や配布いただくことで、
POPにマナー発信をすることが可能です。



メッセージ

A message from us



Thank you for coming to Japan.

Among the many countries around the world, thank you for choosing Japan as your travel destination.

Touristship is a way of traveling with care for local people, culture, and the environment.

We hope that traveling with Touristship in mind makes your time in Japan even more memorable.

May your journey create wonderful memories and a positive connection with Japan.



日本に来てくれて、ありがとう。

世界中に数多ある国の中から、
日本を旅先として選んでくださり、
ありがとうございます。

ツーリストシップとは、
旅先の暮らしや文化に思いやりを向けながら、
その土地ならではの時間を楽しむ旅行者のあり方を指します。

皆さんがツーリストシップを大切にしながら旅をすることで、
日本でのひとときが、より心に残るものになることを願っています。

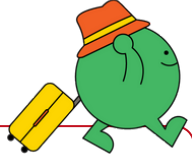
そしてこの旅が、あなたと日本とのあいだに、
より素敵な記憶と、より素敵な関係を残すものになりますように。



入国前

Before Entering Japan

1 最高の時期とは？

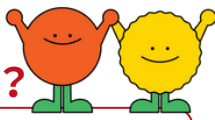


2 Feb	3 May	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan
		🌸👤👤👤				👤👤👤			🌸👤👤👤		👤

上記がハイシーズンです。可能であればそれ以外の時期を考えてみてください。混雑を回避し、値段も安いですし、地域の人達も皆さんと交流する余裕があります。

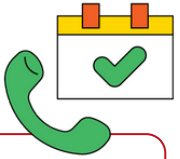
もしハイシーズンの観光地に行く場合は、歩きやすい靴など待ち時間が増えても快適に過ごせる工夫をおきましょう！

2 最高のプランとは？



旅先では、疲れが出たり、思わぬトラブルにあうことがあります。余裕あるスケジュールを立てましょう。初めての方はまずは、交通アクセスや外国語対応が整っている東京・大阪など大都市がおすすめです。その後、様々な文化が根付く地方や農村、自然豊かな地域にも足をのばすと、新しい発見や出会いが待っています。

3 さあ、予約しよう！



人気の体験や食事処は、事前予約がおすすめです。事前予約は、旅行者にとって確実に入場できるだけでなく、施設にとって混雑の緩和につながり、双方にメリットがあります。

4 旅行保険、入った？

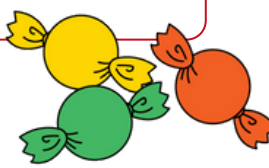
日本では医療の質がとても高く、旅行者も安心して診療を受けられる体制が整っています。ただし、旅行保険に入っていない場合は、医療費を全額自己負担で支払う必要があります。また、スキーや登山は、通常の保険では対象外となる場合があるため、出発前に自分のアクティビティが保険でカバーされるかどうかを必ず確認してください。

医療費をきちんと支払っていただくことは、ご自身の安心だけでなく、日本の医療機関が旅行者を受け入れ続けられるためにも大切です。



5 仲良くなるコツ、教えちゃう

旅先で会う人のために自国のお土産を持って行ってみましょう。世界中どこでも、旅先では道を教えてもらったり、荷物を手伝ってもらったりと、思いがけず地元の方に助けられることがあります。そんなときに、ちょっとしたお礼の品を渡せると、とても喜ばれます。例えば、小さな飴や、自国らしいお土産のお菓子など。こうした小さな心づかいが、旅先での交流をより温かく、忘れられない思い出にしてくれます。





Communication
& Interaction

コミュニケーション



1 便利なことば「sumimasen」

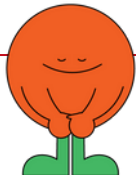
日本語を使うことは、日本文化へのリスペクトを意味します。外国人旅行者の中には、無言でスマートフォンの翻訳された文章を見せる人もいますが、その前に「すみません」とひとこと添えるだけで、相手は歓迎の気持ちになります。「すみません」は、呼びかけ・感謝・謝罪に使える万能な言葉です。

ヒント

日本では英語が通じないことも少なくありませんが、アルファベットは通じることが多いです。特に地名や駅名、金額などは紙に書いて見せるとスムーズに伝わる場合があります。

2 おじぎをしてみよう

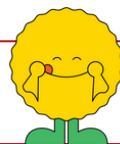
日本に着いたら、日本らしい挨拶をしてみましょう。握手よりもお辞儀の方が一般的で、「こんにちは」「ありがとう」と一緒に軽くお辞儀をするとより丁寧です。また日本では落ち着いた声音が好まれます。普段の会話も、いつもより声を小さめにお話してみましょう。



3 ピースサイン



日本では写真を撮るときにピースをするのが一般的です。ぜひ真似をしてみてください。また日本式の手招きは手のひらを下に向けて指を動かす方法で「あっちいけ」という意味ではありません。



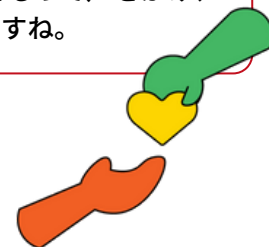
4 笑ってる？

旅先では慣れない場所や疲れから、自分では気づかないうちに不愛想になったり、つい横柄な態度をとってしまうことがあります。旅行中はどんな場面でも、笑顔と思いやりを。

5 お返ししよう

旅先では親切な地域の人に会うかもしれません。そのときは、お手伝いをしたり、プレゼントしたり、買い物をするなどでお返しをしてみましょう。

もし困っている人がいたら、「te-tsu-da-i? (てつだいましょうかの意味)」と聞いてみましょう。旅行中は、よく助けてもらいますから、誰かを助けられる場面では、勇気をもって声をかけ、行動できる旅行者でありたいですね。

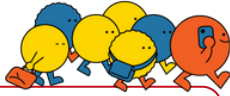




Getting Around

移動

1 避けたい時間



日本では通勤・通学の時間（平日朝7～9時、夕方17～19時頃）がどこも非常に混雑します。この時間帯を避けると、移動がぐっと楽になります。

2 荷物、大きい？



混雑した公共交通機関を利用する際は、大きな荷物の持ち込みを控えましょう。混雑が想像できる場合は、宿泊先に預けたり、コインロッカーを利用したり、宅配便サービスを活用するのがおすすめです。新幹線では座席後方に大型荷物を置くスペースがあり、事前予約が必要です。

3 電車は静かにしよう



日本では公共交通機関での「静けさ」が重視されます。大声で会話したり電話をしたりするのはマナー違反で、通話は駅やホームに出るから行いましょう。ホームでは降りる人を優先後、順番に電車へ乗り込みます。割り込みは厳しく嫌われる行為です。また、日本では座席以外の床に直接座ることはマナー違反です。優先席は、空いているときに座ってもかまいませんが、周囲に必要な方が来たらすぐに席を譲りましょう。

少しユニークなのは、新幹線や長距離列車では駅弁を楽しむことが文化のひとつとなっています。匂いの強いものは避け、日本ならではの体験してみましょう。

4 タクシー乗る？



日本のタクシーは少しユニークです。扉は自動で開閉します。乗ったらシートベルトをしましょう。左から降りましょう。

5 雨の日・・・？

日本では、公共の場を濡らすことをマナー違反と感じる人が多いです。雨の日は傘をさし、衣服が濡れないようにしましょう。また電車やバス、タクシー、レンタカーでは座席を濡らさないよう濡れた傘は足元へ。衣服が濡れている場合は、タオルやビニールを敷いてから座りましょう。（海水浴の後も同じです。）駅や商業施設に傘袋が用意されているのも「共有空間を清潔に保つ」日本文化です。

6 車の運転する？



日本でレンタカーを利用するときは左側通行に気を付けてください。また歩行者優先が徹底されています。飲酒運転は、運転者と同乗者に罰則が及ぶ場合があります。その他、路上駐車は少しの時間であっても罰金の対象になります。

日本の高速道路は有料制です。ETCカードをレンタカー会社で借りるとスムーズですが、現金払いの場合は小銭や紙幣を用意しておく安心です。また高速道路では右車線で追越し、追越しが終わったら左車線に戻るのが決まりです。

またレンタカーを返却する際は、ゴミを放置しないようにしましょう。

7

自転車こいでみる？



近年シェアサイクルサービスが広がりつつあり、気軽に自転車に乗ることができます。自転車は原則車道走行。飲酒運転、二人乗り、並走、スマホ操作や傘差し運転は禁止です。また、駅や観光地では「駐輪禁止区域」が多く、放置自転車は撤去されますので駐輪場を必ず利用しましょう。

8

ユニークな乗り物気になる？

日本では観光ゴカートで公道を走る体験が人気ですが、事故のリスクが高く、サーキットや専用施設で体験するほうが安心です。また、近年は電動キックボードのシェアサービスが広がっていますが、歩行者と衝突するトラブルが問題となっています。それぞれ利用する際は、必ず交通ルールを確認し、安全に配慮してください。

9

団体で移動してる？

仲間が多いと危機感が薄れ、楽しい気分も高まり、つい声が大きくなったり周囲への配慮を忘れてしまうことも多いです。6人以上の大人数で移動するときは、より一つ一つのマナーを丁寧に意識し、周りの人や環境に気を配りましょう。

このマーク、知ってる？



マタニティマーク：

妊娠中の方が身につけているマークです。電車やバス、公共の場で見かけたら、席を譲ったり、荷物や移動をサポートしましょう。



ヘルプマーク：

外見からは分かりにくい障がいや病気のある方、高齢の方、義足・人工関節を使用している方などが身につけているマークです。





買い物&食事

Shopping & Dining

1 現金、必要です・・・



日本ではクレジットカードや電子決済が広まりつつありますが、地方の観光地や小さな飲食店、市場や屋台、交通機関の切符、神社やお寺でのお賽銭など、現金しか使えない場合があります。そのため、旅行中は少し多めに現金を用意しておくとう安心です。

2 買い物するなら・・・

日本には、地域ごとに受け継がれてきた多種多様な伝統工芸品があります。それぞれの土地に根差したお土産は、単なる記念品ではなく地域の文化保全にも繋がりますので、ぜひ地元のお土産を買ってもらえると嬉しいです。



R7-359

伝統マーク
経済産業大臣の指定を受けた
「伝統的工芸品」に表示される
シンボルマーク



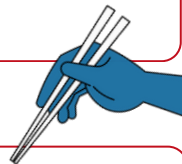
3 和食って知ってる？



日本食＝和食はユネスコ無形文化遺産に登録されており、四季を感じる食材や美しい見た目、健康的なバランスが大きな魅力です。寿司やラーメンなどの有名料理だけでなく、地方ごとの郷土料理も挑戦してみてください。また、日本では食べることが礼儀正しいとされていますので、注文する際は、食べ残しが出ないように頼むようにしましょう。

そばやラーメンなどの麺類は、音を立ててすすめることは強制ではありませんが、自然な行為とされます。またそばは、欧米では一般的な食べ物ではないため、アレルギーと気づかず食べてしまうことがあります。食べた後に異常を感じたらすぐに病院に行ってください。

4 箸を使ってみよう



和食では箸を使うのが基本です。ただし、慣れていない場合はフォークやスプーンをお願いできる施設も多く、心配であれば携帯用のカトラリーを持参しても安心です。箸には2つのタブーがありますのでご注意ください。

- ご飯や料理に箸を突き立てる（葬儀を連想）
- 箸から箸へ食べ物を渡す（火葬後の骨拾いを連想）

5 食べながら歩く？



日本では、最近食べ歩きを禁止する商店街が増えています。基本的には、食べながら歩く行為は礼儀上よくないとされ、お店の前か、店内で食べるのが好ましいです。また、食べ終わった後のゴミは買ったお店に返すか、持ち帰りましょう。ゴミ箱はとても少ないため、ゴミ箱がなくても対応できるよう、購入時に、持ち帰り用の袋をもらっておくと便利です。

また他のお店に持ち込んだり、食べながら買い物を楽しむことはできません。

6 試食してみる？



日本のお土産店や市場、百貨店では、試食をすすめてくれる場所が多くあります。食べた後に「美味しいですね」と一言伝えると、良い印象を与えられます。買うつもりがなければ、試食は遠慮するのが礼儀とされています。また一人で何度も食べたり、グループ全員で食べて誰も買わないのは失礼にあたります。気に入ったらぜひ購入して、地域のお店を応援してみましょう。

7 アルコール

日本では、日本酒・焼酎・クラフトビールなど様々なアルコールを楽しめます。旅行中は、開放的な気分から、ついお酒を飲みすぎてしまうことがありますので、自分のペースを守り、節度を持って楽しむことが大切です。特に日本酒は口当たりがよく飲みやすいお酒ですが、アルコール度数はワインと同じくらい（13～16%）あり、ビールに比べると酔いやすいので、初めての方は少量から味わうのがおすすめです。





Experiences - Basics

体験 - 基本 -

1 日本のゴミ箱事情



日本は街中にゴミ箱が少なく、ゴミは持ち帰るのが基本です。自動販売機横のゴミ箱は、缶・ペットボトル専用です。また自治体によって分別ルールが異なるため、ごみ箱の分別表示を確認して対応しましょう。

また不要になったスーツケースや衣類など大きな荷物を空港や宿泊施設に放置するのはマナー違反です。処分が必要な場合は、宿泊施設などに相談し、適切に対応しましょう。

2 写真を撮るなら



地域の子どもを撮影する際は必ず保護者などに同意を得ることが必要です。日本の学校には制服があり、子どもたちは「ランドセル」と呼ばれる特徴的なかばんを背負って登下校します。その姿は旅行者にとって魅力的に見え、つい写真を撮りたくなるかもしれませんが、配慮をお願いします。

SNSへ投稿前に、「SNS, OK?」と一言聞いてみましょう。穴場の場所を紹介したい気持ちはわかりますが、その結果として混雑や店の負担が生まれる可能性があります。

日本では、ドローンの使用は規制されていますので、確認をしましょう。

3 見えないトイレ事情



日本のトイレの使い方を紹介しますね！

- ・トイレ用スリッパが置いてある場合は履き替える。
- ・洋式トイレは便座や床をきれいに保つため、便座に腰をかけましょう。
- ・「ウォシュレット」を初めて使う人は、解説を見ながら使いましょう。
- ・ペーパーは備え付けの物を使い、使用後は便器で流す。
- ・個室を出る前に便座の汚れを確認し、退出。(便座をペーパーで軽く拭くとGOOD)

4 大浴場・温泉



大浴場の入り方を紹介しますね！

- ・日本の浴場では、基本的に裸で入りましょう。
- ・浴槽に入る前に必ず体を洗い流しましょう。
- ・使った桶や椅子は、綺麗に並べましょう。(立って周囲を確認するとGOOD)
- ・浴槽に入るとき、タオルは外に置くか、頭に掛けてみましょう。お湯の中に入れてはいけません。
- ・タトゥーは文化的に入浴禁止とされる施設が多いです。近年はカバーシールで隠せば可能とする施設も増えていますが、必ず事前に確認が必要です。

5 知っておきたいその他のマナー

■東京・大阪・京都など多くの自治体が路上喫煙を禁止しています。必ず決められた場所で喫煙しましょう。

■日本にはベンチや椅子が少ないため、休憩したくても座る場所が見つからないことがあります。しかし、神社や仏閣の参道の縁や、民家の玄関前に座ることは失礼にあたります。休憩したいときは、公園のベンチやカフェ、公共の休憩スペースを利用しましょう。

■日本では室内では基本的に靴を脱ぎます。玄関の段差が脱ぐサインになりますが、わかりづらい場合は周りの人に聞きましょう。靴を脱いだら、揃えて置くことより丁寧な印象になります。



6 アンケートってこたえる？

観光地や空港、宿泊先などでアンケートへの協力をお願いされることがあります。日本では「お客さんと一緒にサービスを育てる」という文化が根付いており、アンケートの声が直接サービスの改善に活かされることが多いです。ぜひより良い日本のサービスを作るためにアンケートに協力をお願いします。





Experiences - Nature

体験 - 自然体験 -

1 せっかくなら、ガイドさんと?

ガイド同行が義務でない場所でも、ガイドと一緒に回ってみましょう。ガイドの解説によって、さらにその場所を楽しめたり、知らず知らずのうちに繊細な自然を傷つけてしまうことを防ぐことができます。また、案内やルールを確認しておくことも大切です。



日本でガイド同伴が必須または強く推奨されるエリア
知床（北海道）・白神山地（青森・秋田）・屋久島（鹿児島）・小笠原諸島（東京都）・富士山（静岡・山梨）・西表島（沖縄）・阿蘇（熊本）や霧島（鹿児島）などの活火山地域

2 山・森に行く?



植物は回復するまでに長い年月がかかるため、必ず登山道や舗装された道を歩きましょう。また、靴に付着した土や種子が外来植物を持ち込むリスクから、靴底を消毒するマットが設置されている場所もあります。

登山をする場合は、登山届の提出義務の有無、携帯トイレ必携の有無を確認しましょう。また、富士山はとても高い山ですので、一気に登り高山病になるケースが多いです。チャレンジする際は、体調管理をしっかり行い、適切な服装で登りましょう。

3 野生動物に会った?



日本には様々な野生動物が生息していますが、かわいと感じても、近距離での接近や、エサを与える行動は絶対に避けましょう。またヒグマやツキノワグマなど大型の野生動物が生息するエリアでは、出没情報を確認し、遭遇を避けましょう。このようなエリアでは特に「ゴミを持ち帰る」「えさを投げ与えない」といった基本的なルールは必ず守りましょう。

【日本の大型野生動物と生息地】

ヒグマ（北海道全域）・ツキノワグマ（本州・四国）・イノシシ（本州・四国・九州）・シカ（北海道のエゾシカ、本州～九州のニホンジカ）・サル（本州中部以南～四国・九州）

4 海に行く?



日本では遊泳できる範囲がブイやロープで決められております。また、アカウミガメが産卵に上陸するエリアでは、夜間の立ち入りやライトの使用が制限されるエリアもあります。ビーチにはゴミ箱が設置されていないことが多いため、各自で持ち帰りましょう。また、ガラス瓶の破損によるけが防止のため、瓶の持ち込みが禁止のビーチや、酔客によるトラブルを防止するため、飲酒が禁止のビーチがありますので確認してください。

その他、川遊びやラフティング・SUPなどではライフジャケットの着用が強く推奨されています。

5 海に入るなら、日焼け止め?



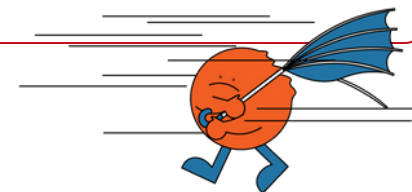
日本でも「環境にやさしい日焼け止め」はまだ普及率が低いです。ただし、沖縄や奄美などサンゴ礁を守る地域では、販売が増えています。ぜひ、海に入るときはサンゴに配慮した製品をご使用ください。

また、水着のまま公共の道路や電車、商店街を歩くことは、近くに住む住民を不快にさせる可能性があるため基本的にマナー違反となります。そのため、海水浴場やプールから移動する際は、Tシャツや羽織りなどを必ず着ましょう。特に、神社仏閣や田舎町では水着や露出の多い服装は周辺の人に強い違和感を与えてしまうため注意が必要です。

6 悪天候にあってしまったら

悪天候が予想される場合は、アクティビティを無理に行わず、中止や変更をすることが大切です。

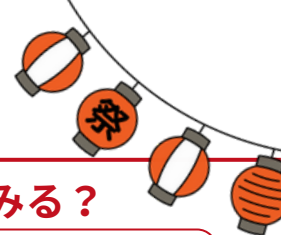
災害が起き、避難が必要な場合、避難所ではその地域の住民が優先されます。旅行者は、帰国できる状況になり次第、できるだけ早く帰国の手続きを行きましょう。情報は自国大使館の情報を確認しましょう。





Experiences - Culture & History

体験 - 文化体験 -



1 日本の歴史、知ってる？



お城や神社をもっと楽しむために、下記ポイントを事前に調べてみてください！

- お城： 戦国時代の武将の物語を調べてみてください
- 神社： 日本神話や天皇を調べてみてください
- 寺院： 仏教が広がった時代背景を調べてみてください

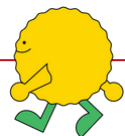
2 日本人が大切にしている動・植物

日本人が大切にしている動・植物は、絶対に乱雑に扱うことなく、ぜひ大切に愛でただけたらと思います！

- 古くから日本人が愛でてきた植物：桜・松・苔・竹
- 神の使いとして大切にされてきた動物：奈良の鹿・日光の猿など



3 神社とお寺の基本！



神社やお寺の基本を紹介します！

◆神社と寺院の違い

神社：お賽銭を入れてから、拝礼は「二礼二拍手一礼」が基本。寺院：拝礼は手を合わせて静かに合掌。拍手はしない。

◆神社や寺院のポイント

- 立入可否のサインがわかりづらいですが、あくまで宗教施設であり、好奇心で奥に入らないことが望ましいです。
- 飲食は多くが禁止されていますが、蓋のついた飲み物での水分補給は許容されている場合が多いです。
- 露出を抑えた服装で訪問しましょう。
- 基本的には建造物には触らない。(特に木造は腐ってしまうため) 一部、天満宮にある牛像など触って御利益を受け取る場所もあります。

◆御朱印と御朱印帳

御朱印は、神社やお寺を参拝した証としていただく「祈りの印」です。御朱印帳にはご当地スタンプなど御朱印以外を押すことは控えたほうがよいとされています。

4 着物、着てみない？

観光地では、レンタル着物を体験できる場所があり、多くの旅行者に人気です。ぜひ体験してみてください。その際は、着物が胸元と足元が開かないよう、綺麗な形を保つため、ゆっくり歩きましょう。



5 アニメの聖地行く？

アニメの聖地は、観光地整備されておらず、地元住民の生活の中にあることが多いです。その場合は、

- ・車道に出ず、周囲に配慮した写真撮影
- ・立ち入り禁止エリアや私有地には入らない
- ・移動時は地元の人を通れるよう道をあける
- ・大声を出さず静かに過ごす
- ・レンタカーを控え電車やバスを利用し渋滞回避が求められます。また、聖地だけでなく、周辺のお店やカフェも立ち寄ると、地域も潤い、歓迎されやすくなります。生活空間と観光の境界があいまいなエリアでは、地域住民への負担が生じやすいため、ぜひツーリストシップを発揮していただきたいです。

6 お祭り、行ってみる？

タイミングが合えば、地域の伝統文化や祭りに参加してみましょう。地域の人々と一緒に盛り上がることのできる貴重な機会です。事前の申し込みで、参加者として体験できる場合があります。

近年、日本では少子高齢化の影響もあり、祭りの担い手不足が大きな課題となっています。そのため、旅行者の参加は、地域にとってとても有難いのです。

7 ディープな体験してみる？

もし一通り日本を満喫して、さらにもう一步深くと思った方は、スタディツアーに行ってみてはいかがでしょうか。何か学びがあるかもしれません。

被災地スタディツアー：東日本大震災や熊本地震・能登半島地震などの被災地を訪れ、被災者の声を聞いたり復興の取り組みを学ぶ体験。

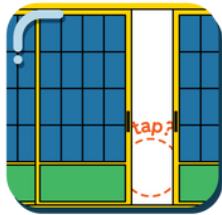
地域課題スタディツアー：過疎地域や農山村を訪れ、住民の暮らしや課題に触れながら、地方創生や持続可能な社会づくりを考える体験。

エコツーリズムツアー：知床・奄美大島や沖縄での自然保護活動体験。

戦争跡地スタディツアー：広島や長崎を訪れて被爆者の証言を聞く体験。

これらのスタディツアーでは、旅行者感覚ではなく、学習者として向き合う姿勢が大切です。特に多くの方が亡くなった場所に訪れる際は、静かに弔いをお願いします。内容によっては、歴史認識のとらえ方で葛藤があるかもしれませんが、慰霊碑の前では平和への一歩として、国境を越えて手を合わせていただけたらと思います。





Accommodation

宿泊

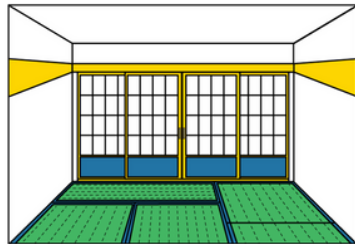
1 面白い宿、泊ってみない？

文化財に泊まることは、日本の文化保全の貢献にも繋がる、特別な体験です。日本では、下記のような宿がありますので、ぜひ体験してみてください。

- 酒蔵を改装した宿
- 神社や寺院に泊まれる宿坊
- 武家屋敷を改装した宿や城泊
- 町家・古民家・旅館
- 洋館や旧邸宅



旅館では、御飯と朝ご飯の2食付きのところが多いです。また多くの場合、大浴場が楽しめます！



2 畳って知ってる？

ぜひ畳の部屋「和室」に泊ってみましょう。畳の香りには心を落ち着かせる効果があります。昼間は座ってくつろぎ、夜は布団を敷いて寝室のように、ひとつの空間を多目的に使えるのが和室の特徴です。快適に過ごすためにはいくつか気を付けたいことがあります。

- ①畳の上では、靴を脱ぎ、裸足や靴下で過ごしましょう。
- ②大きな荷物は、畳を傷つけないように荷物置きラックを利用しましょう。
- ③濡れたタオルや服を畳に置かないようにしましょう。
- ④布団は自分で敷く形式もあります。その際は必ずシーツを敷きましょう。
- ⑤和室内の小物はとても繊細ですので優しく扱ってください。

以上を守っていただき、日本ならではの伝統的な文化体験を楽しんで下さい！

3 日々の暮らしがあるよ



地域の方々の暮らしを守るために、民家の近くでは早朝や夜間は、静かにしましょう。特に小さな宿に泊まる場合は、周囲が住宅地であることが多いので、配慮をお願いします。深夜のチェックインは、移動時に道に迷いやすいため、必ず地図で場所を確認しましょう。宿に夜遅くに着く場合は、できるだけ空港や駅近くに泊まるなど、工夫をしていただくと幸いです。

また、ホテルが近隣観光案内をしていることも多いので、積極的にホテル内の掲示を見たり、おすすめて聞いてみよう

4 環境対策してる？



ホテルや旅館ではアメニティ削減が進んでおり、必要な物だけフロントで受け取る方式が多いです。ゴミ削減のため、アメニティは複数回使いましょう。

また、連泊時に「掃除なし、タオル交換のみ」を選べるホテルもあります。

その他、まわりの明かりをできるだけ減らし美しい夜空を守る、星空保護区が日本に4か所あります。(世界に約200ヶ所) このようなエリアで宿泊をする際は、夜間は照明を暗くしたり、カーテンを閉じたりなど対策へのご協力をお願いします。

日本の星空保護区：

- ①福井県大野市「南六呂師」
- ②岡山県井原市美星町
- ③東京都の離島「神津島」
- ④西表石垣国立公園

貴所に合わせたオリジナルのデザインを作成しませんか。

タクシー会社の事例

自動扉・シートベルト・左扉で出入りを表現



ビックカメラさんの事例

名刺サイズで楽しく持って帰れるデザイン+ロゴ



ほかにも、京都の商店街の事例

- ① 民家には立ち入らない、静かに
- ② 竹林には落書きしない
- ③ ごみはゴミ箱か、お持ち帰りを

カード全体で、川・山などエリアを表現するようなかわいらしいポストカードとして記念になるものを作成

それらをまとめた、スマホ閲覧仕様のサイトを作りませんか。



- ポスターやポストカードと同じイラストを活用したカスタマイズのマナー発信ページを作成。
- スマホからの閲覧を前提とした読みやすいサイト設計。
- 既存のTJWebと連結することで、より高いPVと網羅性を獲得。

◎ 情報の網羅性

当法人は京都市内～全国各地に情報提供者がおり、新しい情報を入手できるだけでなく、世界初の旅行者行動基準「ツーリストシップ行動集」をもとにした網羅性の高い枠組みを所有。

◎ POPなデザイン性

Z世代デザイナーによるPOPなデザインを実現。

◎ 迅速なネイティブチェック

ネイティブとの連携で迅速なネイティブチェックが可能。

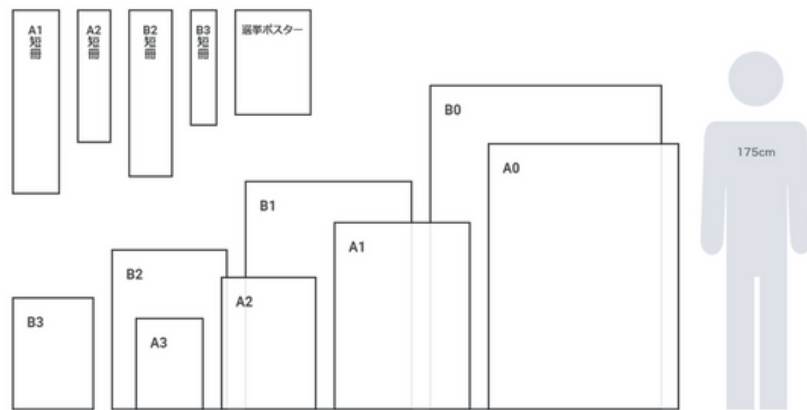
料金について

各デザイン料金

- ① ポスター 200,000円+税 (基本セット) ※多言語対応を含みます
- ② ポストカード 100,000円+税 (オプション) ※多言語対応を含みます
- ③ 名刺サイズカード 100,000円+税 (オプション) ※多言語対応を含みます

印刷費について

印刷費は、サイズ・紙質・部数に応じて別途お見積りいたします。
なお、印刷を行わず、データ納品のみのご依頼も可能です。



主な用紙の種類と特徴

人形No.1	人形No.2	人形No.3	人形No.4
光沢紙系 ポスターで最も人気の用紙です。光沢感があり、写真やイラストが美しく映えます。照明が強い場所に設置すると光が反射してしまうことがあります。	マット紙系 光沢を抑えた落ち着いた仕上がりとなる用紙です。照明が強い場所での設置、文字などをしっかりと読んでもらいたいデザインでの利用がおすすめです。	普通紙系 発色を抑えた仕上がりとなる用紙です。書き込みを前提としたポスターにおすすめです。	耐水紙系 耐水性、耐光性を備えた用紙で、屋外や長期間の提出に適している他、飲食店のメニューなどにもおすすめです。
屋内用オンデマンド印刷対応 フォト光沢紙、*光沢紙	屋内用オンデマンド印刷対応 厚手マット紙	屋内用オフセット印刷対応 普通紙(上質)	屋外用オンデマンド印刷対応 耐水紙(マット)
屋内用オフセット印刷対応 光沢紙(コート)	屋内用オフセット印刷対応 マット紙(マット)		屋外用オフセット印刷対応 耐水紙(コート紙)、耐水紙(裏面シール(ポスタック紙))

*屋外にご利用の場合は、紙種は「耐水紙」または「耐水紙(裏面シール)」を選択してください。

カスタマイズサイト料金 (デザイン費と構築費含む) 500,000円+税

※別途多言語対応を行う場合は、1言語あたり50,000円。

現在は当法人の財源不足で、ウェブ上は英語のみの対応となっております。

2026年中になるべく早く中国語・韓国語などの展開をしていきたいと考えております。

力不足で恐れ入りますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

【言語協賛の募集】

多言語対応を行うための、言語協賛を募集しております。
対応言語のトップ画面下部に1年間広告をおつけします。
費用：1言語あたり400,000円+税

